

第3学年	
教科 「総合的な学習の時間」 単元名 「まちの宝探し」	場所：3-1 教室

## 1 単元の目標

地域の施設や商店街など、興味のある場所を自ら探し出し、まちで働く人々へのインタビューなどを通して、仕事内容や魅力について学び、地域のイベントや行事などへ参加したり、地域の人々と交流したりしながら、地域の身近な課題に気づき、解決策を考え発表することができる。

## 2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の人に必要な存在である商店街などを守るために取り組んでいる人がいることを理解している。</li> <li>○ インタビューや調べ学習によって、目的や対象に応じた調査活動を実施している。</li> <li>○ 地域と自分たちとの繋がりを理解することは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</li> <li>○ まちのよさや特色について関心をもち、すすんで調べたい課題を見付け解決しようとする。</li> <li>○ まちの自慢を友達や地域の人にすすんで発信しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どのようにこの地域が形成されていったのかこれからの地域はどうしたらよいのかなど、課題意識をもっている。</li> <li>○ 地域の課題に関する課題を解決するために必要な情報を収集し自分の考えを整理している。</li> <li>○ 相手や目的に応じて ICT 機器などを活用し、分かりやすく表現している。</li> <li>○ 自分で決めた課題の解決に向けて追及の方法を考えたり、まとめ方や発表の仕方を工夫したりして、課題解決に主体的に取り組むことができる。</li> <li>○ まちの自慢として調べたことをもとに、そのよさや特色について理由を挙げ、発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決のための方法を考えようとしている。</li> <li>○ 地域との関わりの中で、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、自分ができることを考え、実践しようとしている。</li> <li>○ まちの宝探しを通して、地域の人々とのかかわりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとしている。</li> <li>○ まちに対しての思いを広げ学習の成果を自己評価する。</li> </ul>

### 3 単元について

#### (1) 指導内容

地域学習をするにあたり、小学校に入学してからの学習を振り返ることを通して、子どもたちがそれぞれ独自の視点で地域の宝物を見つけるという単元を設定した。これまでの学習では「町」＝学校周辺の商店街などについて学んできた。本単元では「まち」＝これまでの学習を更に深く学び、より広範囲に渡った学習に取り組む。

本単元では、子どもたちが自分の住んでいる地域を深く掘り下げ、独自の視点で「地域の宝物」を見付け出すことを目指している。これまでの学びでは、学校周辺の限られた範囲だったが、地域の自然観察、地元のスポーツチームの応援、お店の人々との交流など、各テーマについて子どもたちは自ら調べ、自分たちでできることを考え、実際に活動を行う。これらの活動を通して、子どもたちは地域への理解を深め、愛着を持つことを目指す。

学習のまとめでは、クラスみんなで協力して、地域の宝物のマップを作成したり、本を編纂したり、プレゼンテーションを行ったりするなど、様々な表現方法で成果を発表する。単元を通して、子どもたちは、地域の一員としての自覚を養い、主体的に学ぶ力を育む。

#### (2) 創造的な資質・能力を重点的に育成する単元として設定した理由

本単元は、自分たちのまちのことを知る活動を通して、調べ、体験し、成功体験を積み重ねることができる内容である。しかし、失敗も経験することで、友達と相談したり、地域の人から教わったりすることでより一層、まちのことを学ぶことができる。担任や地域の人たちに相談することで、解決策を考え、新たな考えをまとめる経験をすることができる。

単元の最後で、まちの未来について、自分たちの意見をまとめ、発表する。地域の一員としての自覚を持ち、積極的に活動するには、地域貢献活動に参加することが必要不可欠である。まちの情報を発信するポスターや冊子の作成、まちのシンボルやスローガンなどを多様な機会が考えられる。本単元では、互いの価値観を認め合い、協力して活動し、グループ内で意見交換を行い、多様な考え方を尊重する。他のグループの発表を聞き、お互いの良い点を見つけ出す、など様々な協働活動を通して、地域とのコミュニケーション能力をより一層高めるためにこの単元を設定した。

### 4 児童の実態

4月当初から落ち着きのない様子が見られ、学力・生活指導面でも一定の課題を抱えていたクラスである。更に、学んだことをすぐに忘れてしまったり、集中力が途切れやすかったり、周囲の状況に左右されやすい一面も見られ、興味のあることには、意欲的ではあるが、興味がない、つまらないことには、全く聞く耳を持たない、というとても分かりやすいクラスである。基本的な学力が定着せず、計算ミス、平仮名のみで1文が長い文章、字形を整えて書けない、姿勢が悪いなど、課題が山積している。

基礎学力の定着を図るための反復練習や個別指導を繰り返し実施し、飽きさせないよう多様な教材や活動を取り入れ、子どもたちの興味・関心を引き出す工夫を凝らし、集中力を維持する工夫をしている。個性や学習状況に合わせて、個→少人数→全体指導を実施することで、協調性やコミュニケーション能力を育成している。自己肯定感が低い児童も多々見られるため、できたこと、頑張ったことを具体的に認めるようにしている。子どもたちは、学習意欲はあるので、個々の課題を克服し、学習習慣を定着させることで、全てにおいて向上することができると期待している。

## 5 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

自分が住んでいる「まち」について、より一層深く学びたい、という思いや願いをもち、様々な活動を通して、実社会で活躍する人などとの対話を大切にし、地域の実態に対する問題を発見・解決を成功（失敗）体験を通して、すすんで関わろうとする態度を身に付けることができるようにする。

## 6 創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて

### (1) トライ&エラーをくり返しながら取り組むための工夫

子どもたちが学習に取り組みやすいように、小単元は、同じ流れを意識して計画してきた。そうすることで、これまでの学習を振り返りやすくし、反省点があれば改善するように指導していく。その繰り返しを経験することでより深く学べるようになると思った。失敗は成功への第一歩であることを伝え、子どもたちが安心して挑戦できる雰囲気を作り、小さな成功体験を積み重ね、自信をもたせるようにする。更に異なる意見や考え方を尊重し、多様な視点から問題を考えることを促すようにする。一人一人の探究活動の様子を観察し、適宜アドバイスを行いながらグループ内で互いの発表を聞き、意見交換を行うことで、より深い学びへと繋がるようにする。子どもたちが自ら自分の活動を振り返り、改善点を見つける機会を設け、地域住民の方々に、まちの歴史や文化に関する話を聞いたり、一緒に探求活動に参加したりする機会を設けるようにする。STEAM教育との連携を意識し 科学、技術、工学、芸術、数学の視点を取り入れる基礎として、より深い探究ができるように工夫して取り組む。今回の単元では、自分たちの興味関心から、自然、スポーツ、商店街、伝統文化、歴史とそれぞれの視点ごとに学習を進めていく。

### (2) 自分事としてとらえるための工夫

「まちの宝探し」は、地域学習の定番テーマではあるが、子どもたちが単なる「課題」として捉えるのではなく、自分事として興味を持ち、深く探求していく工夫として、通学路や放課後、いつも利用する公園の歴史や建物など、子どもたちの身近な疑問を起点に探求活動を始める。「この建物は何に使われていたのだろうか。」「この公園にはどんな秘密が隠されているのかな。」など、子どもたちの好奇心を刺激するような発問を投げかけることで、探求意欲を高めるようにする。

グループでの役割分担では、情報収集、図の作成、発表など、役割分担を明確にすることで、一人一人が責任を持って活動することができる。また、意見交換をする時間を設けることで、グループ内で、多様な視点から物事を捉えることができるようになる。

調べたことをクラス全体で発表する機会を設けることで、学習の成果を共有し、達成感を味わうことができる。また、地域の人々との交流インタビューでは、地域の古老や商店主など、地域に詳しい人にインタビューを行い、生の声を聞くことで、まちの歴史や文化を深く理解することができる。また、地域の清掃活動やイベントへの参加など、地域貢献活動を通して、まちへの愛着を深めることができる。本単元を継続的な学習活動として位置付け、子どもたちの探究心を育むために、「～にもう一度行ってみたい」と思うのではなく、何のためにどこに行きたいのか探検の目的を明確にもてるように支援する。

### (3) 相手意識をもつための工夫

「まちの宝探し」は、地域の魅力を発見し、学習意欲を高める活動として、参加者全員が楽しめる、より深い学びにつながる活動にしていく。そのために小さな子どもから大人まで、幅広い

年齢層が参加できるように歴史に興味がある人、自然が好き人、食に興味がある人など、参加者の多様な興味関心を考慮したテーマを設定する。グループにすることで、互いに教え合い、学び合う機会を作ることができる。意見が異なる場合でも、相手の意見に耳を傾け、多様な視点から考えることを促すことが必要となる。更に、活動前に、興味関心を共有する時間を設けることが必要となる。

振り返りの時間を設けることで、活動後に、感想を共有したり、改善点について話し合ったりする時間を設けるようにする。更に、地域住民の方にインタビューを行い、町の歴史や文化について話を聞くなど、地域の商店や施設に協力してもらう機会を設ける。

活動の成果を発表する会を企画し、参加者全員で達成感を共有し、参加者への事前アンケートなどを通して、参加者の興味関心や、活動への期待などを把握するようにする。参加者だけでなく、地域住民に意見を聞き、活動の質を高める。

本単元は、単に場所を巡るだけでなく、参加者同士の交流を深め、地域への理解を深める貴重な機会である。相手意識を持って企画することで、より深く、そして楽しく活動をすすめることが可能である。本単元から4年生の車いすや視覚障害のある方など、様々な人が協働して利用するバリアフリーの学習に繋げることが可能となる。

## 7 指導計画（全32時間）

時	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて	・評価規準（方法）
1 ・ 2	○ まちへの興味関心を高める ★まちの好きなところ、嫌いなところ、知りたいことを話し合う。 ★まちの地図を見て、知っている場所をマークする。 ★まちのシンボルとなるものを探す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの地図や写真を見て、興味を持ったことや疑問に思ったことを具体的に説明する。【思・判・表】（発言・ワークシート）</li> <li>● まちのシンボルや特徴を自分の言葉で説明している。【思・判・表】（発言・ワークシート）</li> <li>● まちに関する質問を積極的にもち、探究心を持って活動している。【主】（発言・ワークシート）</li> <li>● まちに関する情報を集め、整理することができる。【思・判・表】（ワークシート・行動観察）</li> </ul>

<p>3 4 5 6 7</p>	<p><b>【身近な自然発見】</b> ○ 身近な多摩川の自然と触れ合い、調べたことや体験したことなどをまとめる。 ★多摩川の土手を歩いたり、自然を観察したりする。 ★地域の植物や生き物について調べる。 ★ごみ拾いなどを行う。 ★自然観察日記をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の自然環境に関心を持ち、すすんで調べている。【主】（行動観察）</li> <li>• 自然保護の重要性を理解し、環境問題について考えている。【知・技】（発言・ワークシート）</li> <li>• 自然の中で遊ぶ楽しさや自然との共生について説明している。【思・判・表】（発言）</li> <li>• 自然環境に対する関心を持ち、環境保全の意識をもっている。【主】（発言・ワークシート）</li> </ul>
<p>8 9 本 時 10 11 12</p>	<p><b>【スポーツ体験隊】</b> ○ 地域のプロ女子バスケットボールチームと関わり合いながら、応援する方法を友達と協力しながら考える。 ★バスケットチームを学校に招き、一緒に体を動かす体験をする。 ★羽田ヴィッキーズについて調べる。 ★羽田ヴィッキーズを盛り上げる方法を班のみinnで考える。 ★考えたことをチームに伝え実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域のバスケットチームに関心を持ち、すすんで調べている。【主】（行動観察）</li> <li>• 地域のバスケットチームの思いを理解し、情報発信の方法について考えている。【知・技】（発言・ワークシート）</li> <li>• 考えたことを相手に伝えるように話したり、班の意見をまとめたりする。【思・判・表】（発言・ワークシート）</li> </ul>
<p>13 14 15 16 17</p>	<p><b>【商店街を元気にしよう】</b> ○ まちの人々と出会い、地域のお店の人等にインタビューをし、ボランティア活動に参加する。 ★地域の方々と給食を一緒に食べる。 ★商店街について調べたいことをまとめる。 ★商店街へ出掛け、インタビューをし交流をする。 ★ボランティア活動に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の人々とのインタビューを通して、様々な職業や生き方を知り、理解を深めている。【知・技】（発言・ワークシート）</li> <li>• ボランティア活動などに積極的に参加し、協調性や奉仕の精神を育んでいる。【主】（行動観察・発言）</li> <li>• 地域社会の一員としての自覚をもち、積極的に活動している。【主】（行動観察・発言）</li> </ul>

<p>18</p> <p>19</p> <p>20</p> <p>21</p> <p>22</p>	<p><b>【ワッショイ！！伝統文化を調べよう】</b></p> <p>○ まちの文化に触れる地域の伝統芸能や祭りについて調べる。</p> <p>★地域の神社などに見学に行く。</p> <p>★地域の祭りや神社など身近な文化について調べる。</p> <p>★グループでインタビューなどをしながらさらにくわしく調べる。</p> <p>★白地図などにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の伝統芸能や祭りについて、その特徴や意味を説明している。【知・技】（発言・ワークシート）</li> <li>● 様々な活動を通して、地域の文化に触れる楽しさを味わっている。【主】（行動観察・観察）</li> <li>● 地域の文化を尊重し、伝統を継承しようとする意識を持っている。【主】（発言・ワークシート）</li> <li>● 地域の文化に対する理解を深めるとともに、多様な文化を尊重する態度を育んでいる。【主】（ワークシート）</li> </ul>
<p>23</p> <p>24</p> <p>25</p> <p>26</p> <p>27</p>	<p><b>【まちのタイムスリップ探検隊】</b></p> <p>○ まちの公園や建物など身近な歴史について学び、白地図などにまとめる。</p> <p>★身近にある場所について調べてみたいことをまとめる。</p> <p>★公園や建物の簡単な歴史について調べる。</p> <p>★昔のまちの様子を想像しながらまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の歴史に関する資料を読み、過去の出来事を説明している。【思・判・表】（行動観察・発言）</li> <li>● 建造物や公園などに関心を持ち、それらを観察し、記録している。【思・判・表】（ワークシート）</li> <li>● 歴史に対する理解を深め、過去の出来事と現在のつながりを考えている。【知・技】（発言・ワークシート）</li> <li>● 資料や情報から必要な情報を選び、考察している。【思・判・表】（発言・ワークシート）</li> </ul>
<p>28</p> <p>29</p> <p>30</p> <p>31</p> <p>32</p>	<p><b>【まちの未来をデザインする】</b></p> <p>○ 10年後のまちを想像し、まちの宝物を発表する。</p> <p>★単元のまとめ方</p> <p>宝物の展示会：クラスで宝物の展示会を開き、みんなで鑑賞する。</p> <p>宝物のマップ作り：クラスみんなで協力して、地域の宝物のマップを作る。</p> <p>宝物の本を作る：クラスで宝物の本を作り、学校図書館に寄贈する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来のまちの姿を想像し、創造的なアイデアを提案している。【思・判・表】（行動観察・発言）</li> <li>● 持続可能な社会の実現に向けて、自分たちにできることを考えている。【主】（発言・ワークシート）</li> <li>● 未来に対する展望を持ち、社会貢献の意識をもっている。【主】（発言・ワークシート）</li> </ul>

8 本時の指導計画

3年1組 (全32時間中の第8時) 授業者:(築館 護)		場所: 3年1組
目標: 地域のバスケットボールチームを知ってもらうためにはどのようにすればよいのか考える。		
	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】(方法) ★創造的な資質と能力の素地を育成するための手だて
導入	○前時の学習を振り返る。 ○学習の見通しをもつ。	★学習計画表を振り返り、本時で何を するのか見通しをもたせる。 ★事前に撮影した、羽田ヴィッキーズ のインタビュー動画を視聴する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 羽田ヴィッキーズを盛り上げよう             </div>		
展開	○羽田ヴィッキーズを盛り上げるための方法を一人で考える。 ・応援するホームページ(動画)を作りたい。 ・応援歌を作りたい。 ・ポスターで宣伝したい。 ・応援旗を作ってみたい。 ・チラシを配りたい。  ○班で意見を持ち寄り、内容を考え、ワークシートに記入する。 ・「みんなの意見が似ているので～」 ・「意見が分かれたのでどうしますか。」 ・「どのように計画していきますか。」  ○グループで話し合ったことをもとに全体で交流する。 ・わたしたちは○○のように進めていきます。 ・○○さんと△△さんの意見を合わせると～～です。 ・意見が違ってまとまらないので～。 ・○○さんの話を聞いて自分の考えを変えました。	★一人で考えたことを短冊に書き、班 で話し合うときの材料とする。  ★班ごとに相談し、具体的な企画書が 書けるようにワークシートを用意す る。 ★考えが異なる場合は無理に一つにま とめるのではなく、全員の意見のよ いところを取り入れた第三案が考え られないか検討する。その時間に決 まらない場合は、なぜ悩んでいるか ということ进行交流するように助言す る。  ◆地域のバスケットチームの思いを理解 し、情報発信の方法について考えてい る。【思・判・表】(発言・ワークシート) ★話型に沿った話し方ができるような 台本を用意する。
振り返り	○本時の学習を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。	★話し合った内容を振り返ることがで きるように、友達から学んだことを 記入できるワークシートを用意す る。